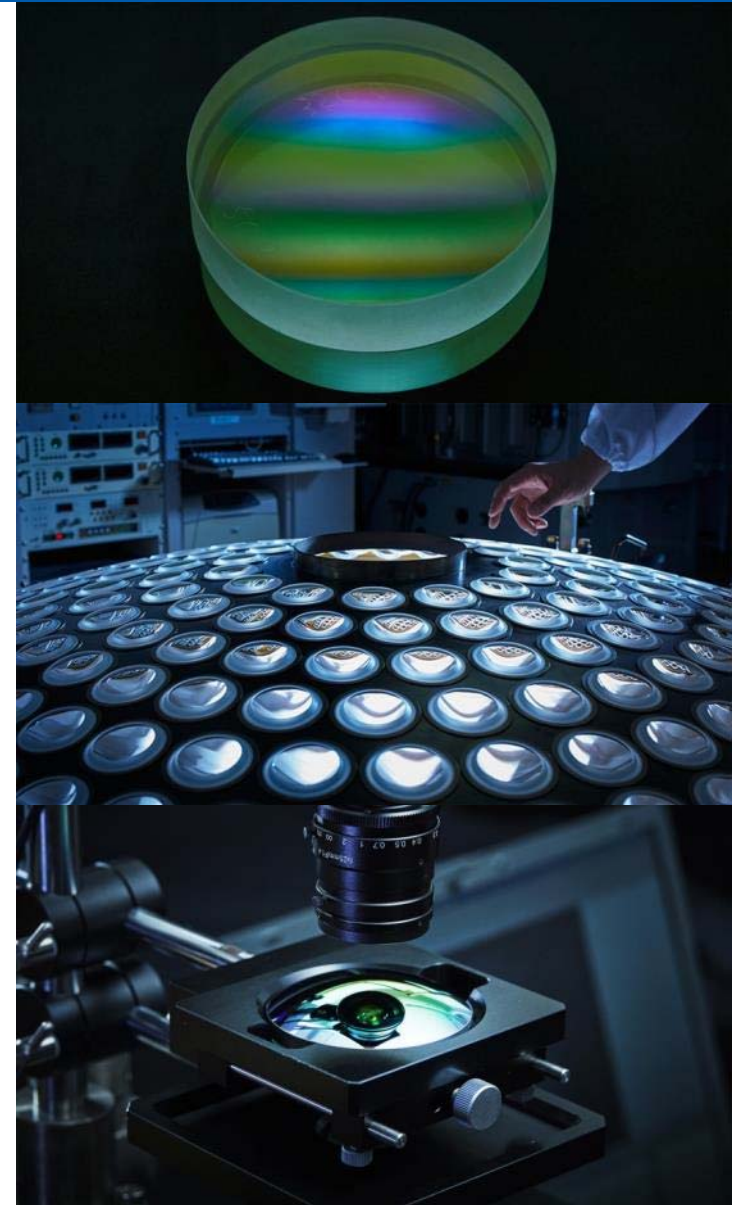


2019年12月期 第2四半期決算説明会

2019年8月5日（月）
株式会社タムロン
（証券コード：7740）



目次

I.2019年概況

1. 2019年上期総括
2. 2019年通期見通し

II.上期実績

1. 2019年上期連結業績
2. 営業利益変動要因
3. 2019年上期セグメント別業績
 - ①写真関連事業
 - ②レンズ関連事業
 - ③特機関連事業

III.通期計画

1. 2019年通期連結業績
2. 2019年通期セグメント別業績
 - ①写真関連事業
 - ②レンズ関連事業
 - ③特機関連事業

IV.参考情報

1. 財政状況
2. 設備投資、減価償却費、研究開発費
3. キャッシュ・フロー
4. 配当金、主要経営指標
5. 為替影響

TAMRON

I . 2019年概況

TAMRON

I - 1 . 2019年 上期総括

【 経 営 環 境 】

➤ 市場環境 : **デジタルカメラ市場は大幅減少**

- ・レンズ交換式カメラ ⇒ 数量△29%減、金額△24%減
- ・交換レンズ ⇒ 数量△25%減、金額△13%減
- ・レンズ一体型カメラ ⇒ 数量△19%減、金額△15%減

➤ 為替動向 : **売上高・利益にマイナス影響** (ドルは1.4円の円安も、ユーロが7.2円の大幅円高)

【 当 社 業 績 】

【上期業績推移】

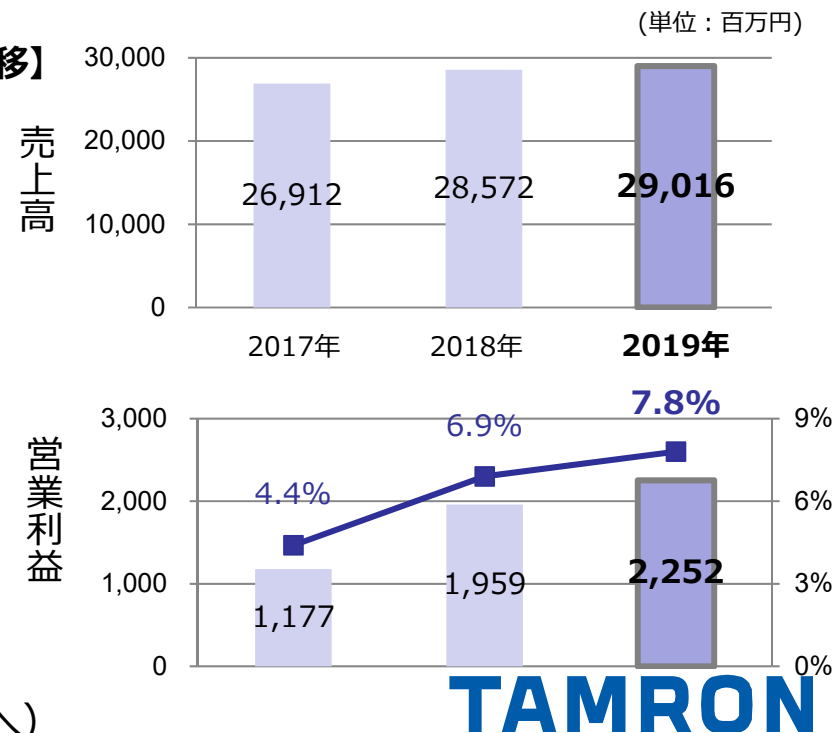
➤ 前期比 : **増収、2ケタ増益** (+2%増収、+15%営業増益)

- ※成長分野の特機関連事業は2ケタ売上成長
- ※中核事業の写真関連事業は減収も収益性改善で増益
- ※レンズ関連事業も営業黒字化

⇒**全セグメントで増益**

➤ 計画比 : **売上高・利益ともに計画達成**

(減益計画だったが、営業利益が計画比+40%で増益へ)



I - 2 . 2019年 通期見通し

【下期経営環境】

- 市場環境 : **デジタルカメラ市場の減少継続**
 - ※ミラーレスシフト加速（上期ミラーレス比率：台数37% → **44%**、金額43% → **59%**）
 - 監視カメラや車載カメラ等の市場は成長基調持続**
- 前提為替レート : **上期の水準から更に円高進行**
 - ※ドル（18年下期：112.18⇒19年下期：108）：上期は前期比円安⇒**下期は前期比円高へ**
 - ※ユーロ（18年下期：129.21⇒19年下期：122）：上期同様に**下期も前期比大幅な円高継続**

【当社業績】

➤ **3期連続の増収増益を見込む**

為替のマイナス影響は大きくなるが、下期も増収・営業増益を見込む

⇒**通期で+5%増収、+9%営業増益**

➤ **期初の通期計画を維持**

- ・前提為替レートをドル・ユーロ共に円高水準に見直すが、期初の通期計画を据え置き
- ・上期実績・直近下期見通しを考慮し、セグメント別計画は見直し

TAMRON

Ⅱ. 上期実績

TAMRON

II-1. 2019年上期 連結業績

(単位：百万円)

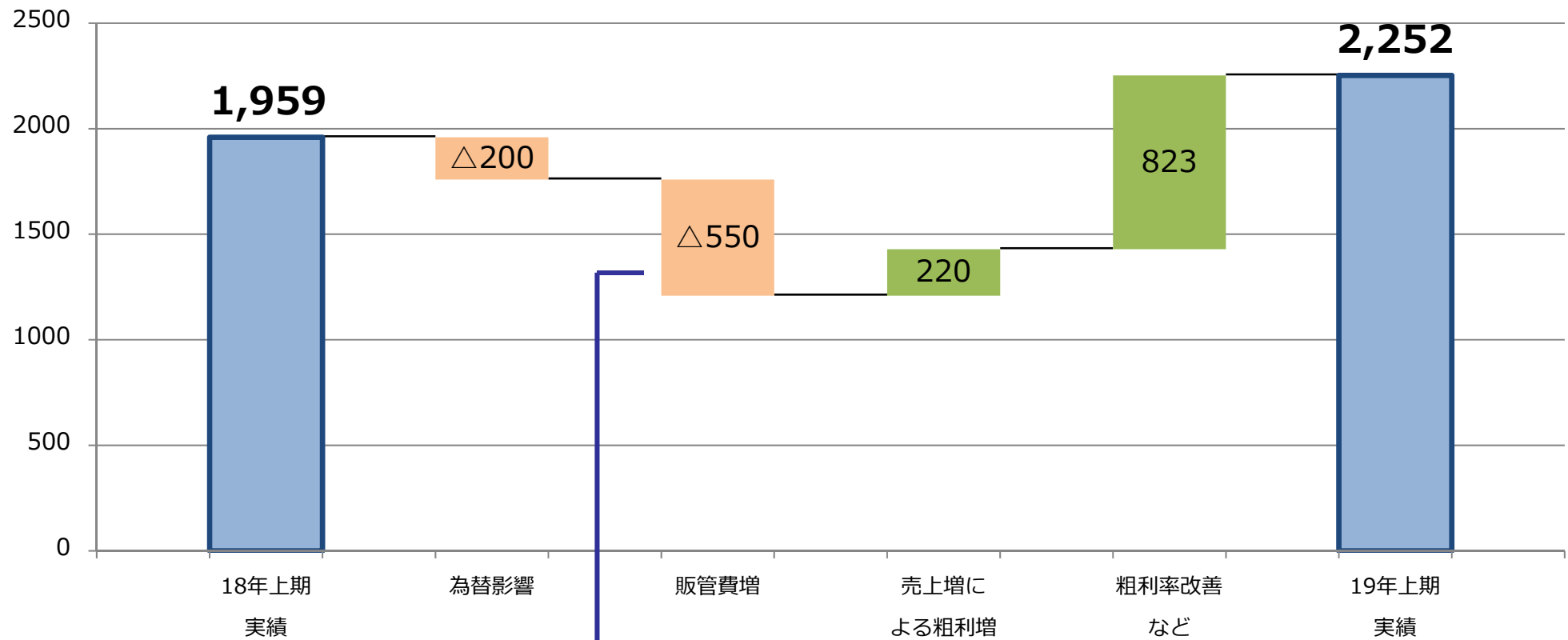
	2018年 上期実績	2019年 上期計画	2019年 上期実績	増減 (対前年)		増減 (対計画)	
				額	率	額	率
売上高	28,572	28,600	29,016	+443	101.6%	+416	101.5%
粗利益	9,661	—	10,421	+759	107.9%	—	—
粗利益率	33.8%	—	35.9%	+2.1%	—	—	—
営業利益	1,959	1,600	2,252	+292	114.9%	+652	140.8%
営業利益率	6.9%	5.6%	7.8%	+0.9%	—	+2.2%	—
経常利益	2,090	1,600	2,549	+458	121.9%	+949	159.4%
経常利益率	7.3%	5.6%	8.8%	+1.5%	—	+3.2%	—
四半期純利益	1,585	1,150	1,931	+346	121.8%	+781	167.9%
純利益率	5.5%	4.0%	6.7%	+1.2%	—	+2.7%	—
ドル	108.68	110.00	110.07	+1.39	—	+0.07	—
ユーロ	131.58	125.00	124.35	△7.23	—	△0.65	—

- **粗利益率が+2.1 p t の大幅改善。** また営業外損益も良化。
- 1Q、2Q共に営業増益を達成。

TAMRON

Ⅱ-2. 営業利益変動要因

(単位：百万円)



研究開発費 +5.9億円

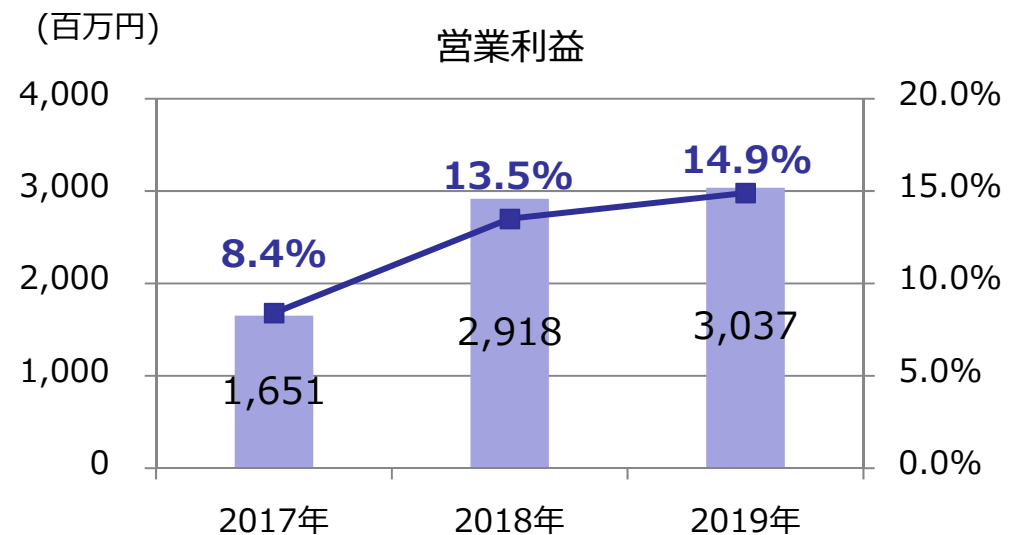
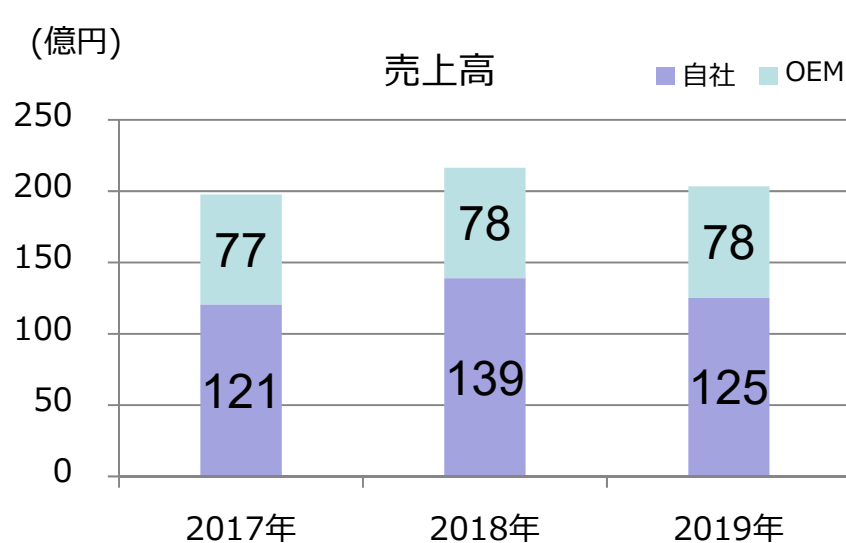
広告宣伝・販促費 △1.6億円

TAMRON

Ⅱ-3. 2019年上期 セグメント別業績 ①写真関連

(単位：百万円)	2018年 上期実績	2019年 上期計画	2019年 上期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響	増減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	21,650	20,800	20,353	△1,297	94.0%	△2.9億円	△446	97.9%
営業利益	2,918	2,500	3,037	+119	104.1%	△2.8億円	+537	121.5%
営業利益率	13.5%	12.0%	14.9%	+1.4%	-	-	+2.9%	-

- 自社ブランドはA036等の新製品が売上寄与したものの、市場全体の減少が響き減収。OEMは前年水準を維持。
- 自社ブランド新製品の好調持続による製品ミックス良化に伴う粗利増により営業増益。利益率は約15%へ。

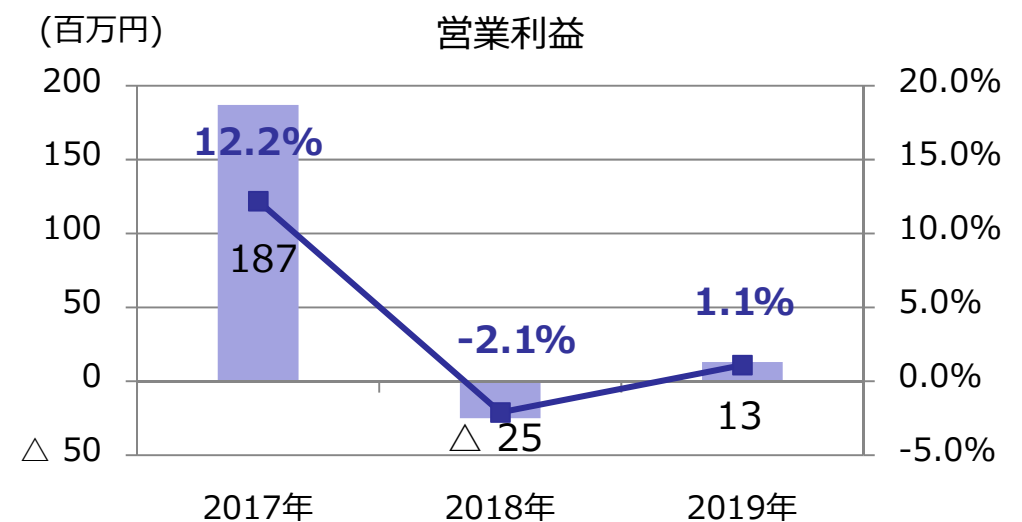
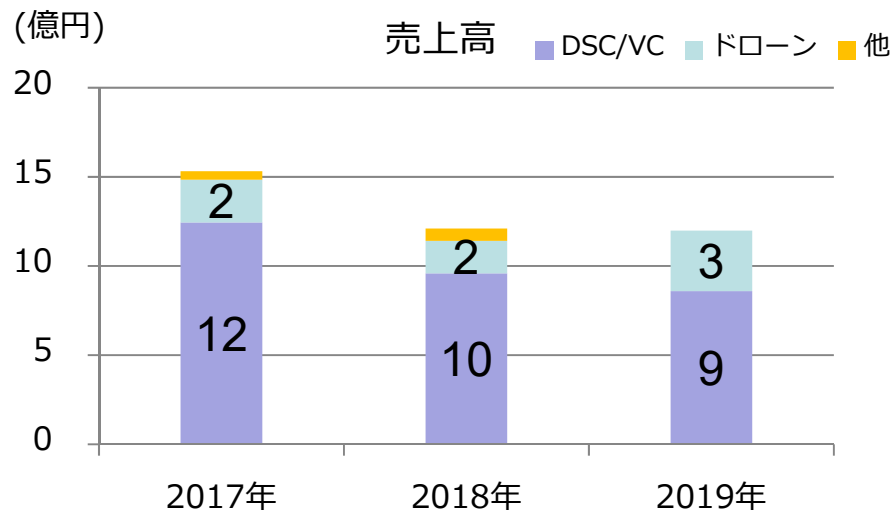


TAMRON

Ⅱ-3. 2019年上期 セグメント別業績 ②レンズ関連

	2018年 上期実績	2019年 上期計画	2019年 上期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響	増減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	1,209	1,400	1,199	△10	99.2%	+0.5億円	△200	85.7%
営業利益	△25	50	13	39	-	+0.5億円	△36	26.2%
営業利益率	△2.1%	3.6%	1.1%	3.2%	-	-	△2.5%	-

- DSC/VCは市場は大幅減少だったが、前年並みに踏みとどまる。
- 営業赤字から**営業黒字へ転換**。

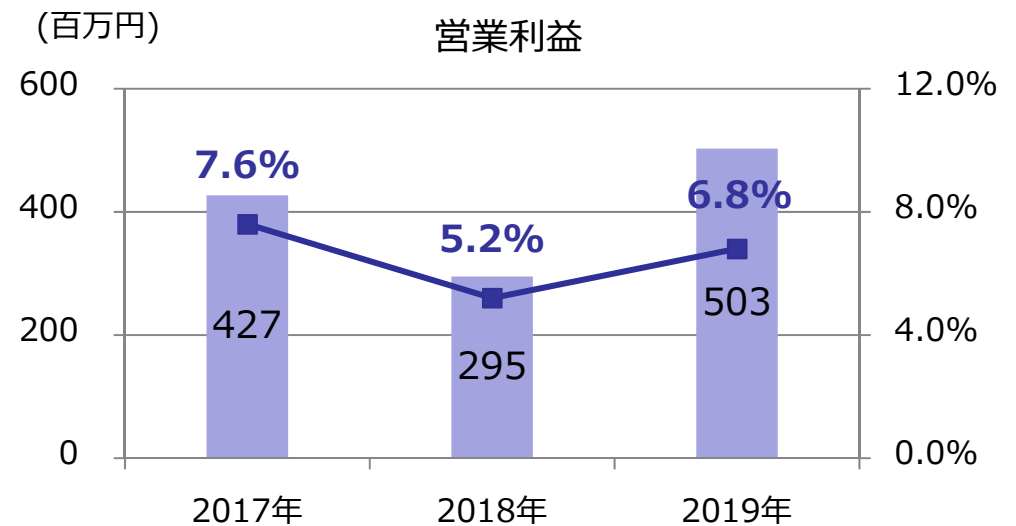
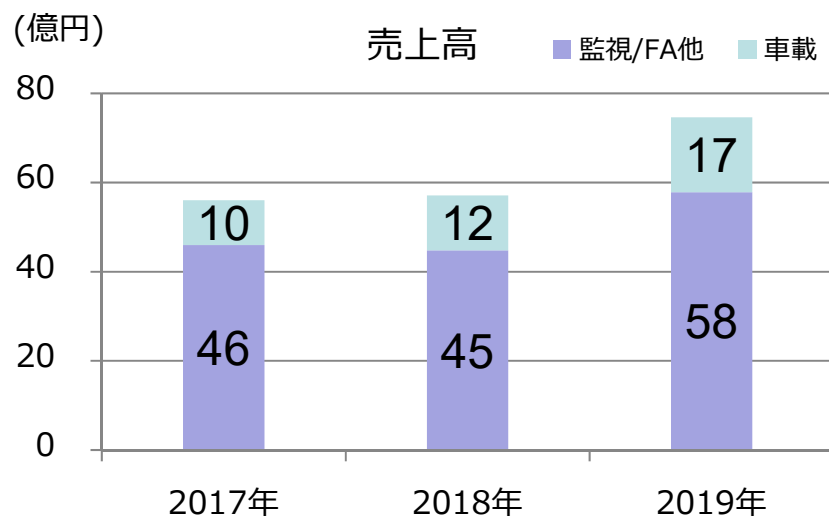


TAMRON

Ⅱ-3. 2019年上期 セグメント別業績 ③特機関連

(単位：百万円)	2018年 上期実績	2019年 上期計画	2019年 上期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響	増減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	5,711	6,400	7,463	+1,751	130.7%	+0.2億円	+1,063	116.6%
営業利益	295	350	503	+208	170.3%	+0.3億円	+153	144.0%
営業利益率	5.2%	5.5%	6.8%	+1.6%	-	-	+1.3%	-

- 監視/FA他はレンズ、モジュール共に伸ばし大幅増収、車載用レンズも好調継続により、**約30%の大幅増収**。
- 価格競争は厳しい市場だが、増収効果により着実な利益成長も果たし**約70%の大幅増益**。



TAMRON

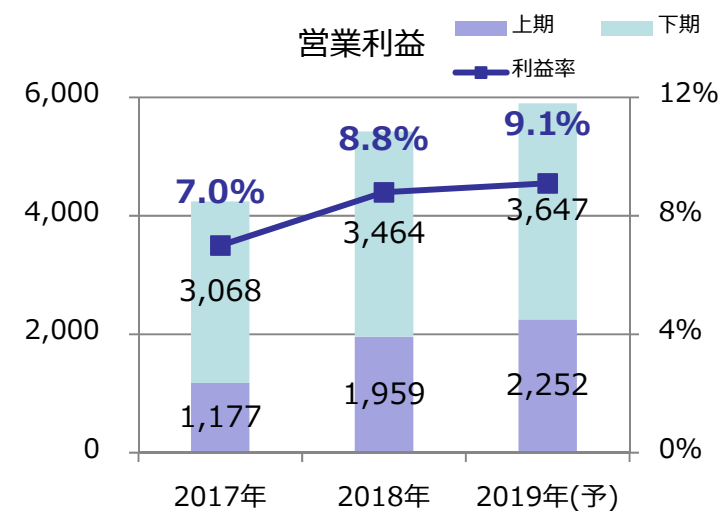
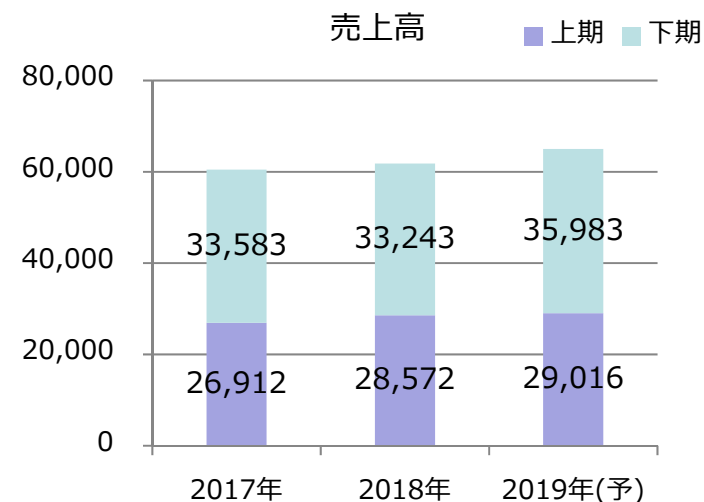
Ⅲ. 通期計画

TAMRON

Ⅲ-1. 2019年通期 連結業績

(単位：百万円)

	2018年 通期実績	2019年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	61,815	65,000	+3,184	105.2%
営業利益	5,424	5,900	+475	108.8%
営業利益率	8.8%	9.1%	+0.3%	-
経常利益	5,877	5,900	+22	100.4%
経常利益率	9.5%	9.1%	△0.4%	-
当期純利益	4,330	4,130	△200	95.4%
純利益率	7.0%	6.4%	△0.6%	-
ドル	110.45	109.00	△1.45	-
ユーロ	130.38	123.20	△7.18	-



- 下期前提レート見直し： ドル = 108円 (期初前提は110円)
ユーロ = 122円 (期初前提は125円)

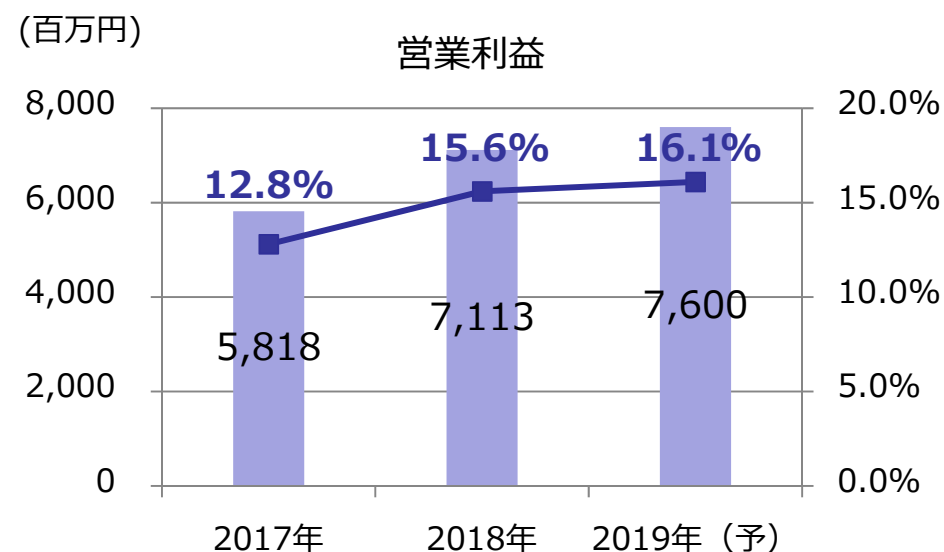
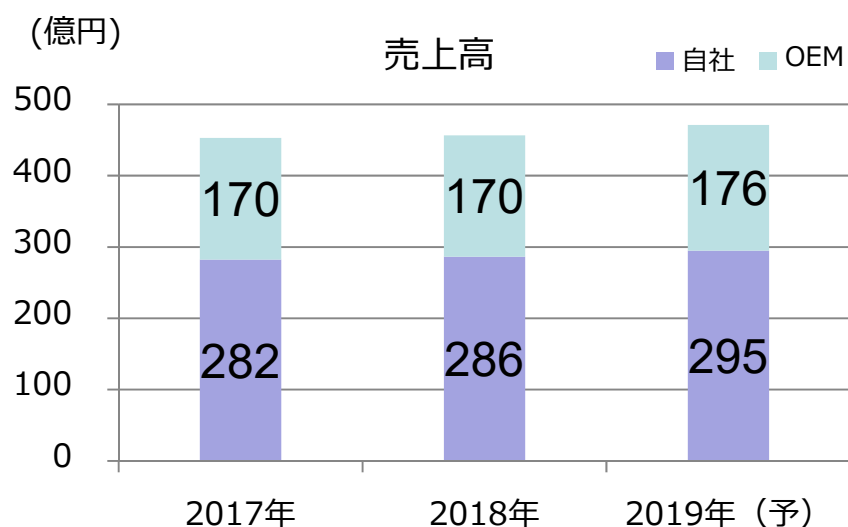
⇒円高水準に見直したことによる為替のマイナス影響を吸収して期初計画を据え置き

TAMRON

Ⅲ-2. 2019年通期 セグメント別業績 ①写真関連

(単位：百万円)	2018年 通期実績	2019年 通期計画 (期初計画)	2019年 修正計画	増減 (対前年)		増減 (対期初計画)	
				額	率	額	率
売上高	45,640	46,500	47,100	+1,459	103.2%	+600	101.3%
営業利益	7,113	7,150	7,600	+486	106.8%	+450	106.3%
営業利益率	15.6%	15.4%	16.1%	+0.5%	-	+0.7%	-

➤ 自社・OEM共に増収を見込み、利益率も円高影響受けるも16%台へと上昇目指す。**売上高・利益ともに上方修正。**



TAMRON

自社ブランド新製品投入状況

下期には、更に
もう2機種を発売予定

区分		2017年投入	2018年投入	2019年投入
一眼	単焦点			6月 発売  SP 35mm F/1.4 USD (F045)
	広角	3月 発売  10-24mm VC HLD (B023)	9月 発売  9月 発売  17-35mm F/2.8-4 OSD (A037)	
	標準	8月 発売  SP 24-70mm F/2.8 VC USD G2 (A032)	SP 15-30mm F/2.8 VC USD G2 (A041)	
	高倍率	7月 発売  18-400mm VC HLD (B028)		
	望遠	2月 発売  2月 発売  SP 70-200mm F/2.8 VC USD G2 (A025) SP 70-300mm VC USD (A030) 11月 発売  100-400mm VC USD (A035)	4月 発売  70-210mm F/4 VC USD (A034)	5月 発売  35-150mm F/2.8-4 VC OSD (A043)
ミラーレス			5月 発売  28-75mm F/2.8 RXD (A036)	7月 発売  17-28mm F/2.8 RXD (A046)

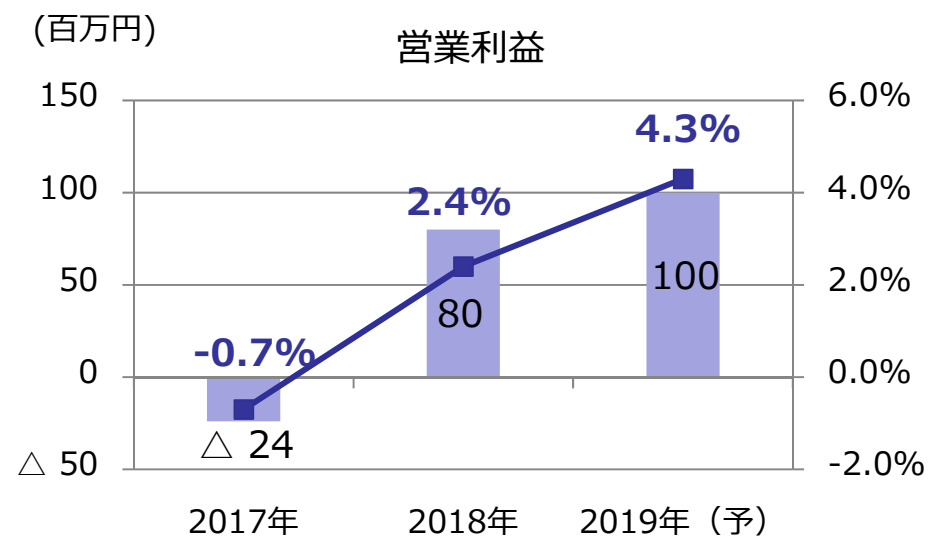
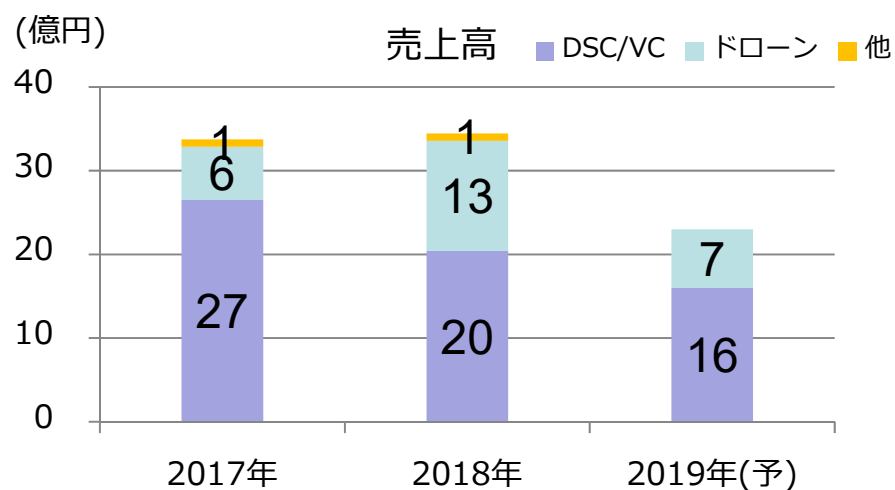
2017年から2018年に計10機種投入。2019年も3機種を発売済。(合計5機種の発売を予定)
ミラーレス用のA036、A046共に想定を上回る販売数のため、バックオーダーを抱えている。

TAMRON

Ⅲ-2. 2019年通期 セグメント別業績 ②レンズ関連

(単位：百万円)	2018年 通期実績	2019年 通期計画 (期初計画)	2019年 修正計画	増減 (対前年)		増減 (対期初計画)	
				額	率	額	率
売上高	3,436	2,900	2,300	△1,136	66.9%	△600	79.3%
営業利益	80	150	100	+19	123.5%	△50	66.7%
営業利益率	2.4%	5.2%	4.3%	+1.9%	-	△0.9%	-

➤ DSC/VC、ドローン用共に減収見込み。ドローン用で受注モデルの販売低迷で売上高は下方修正も、営業黒字・増益計画は維持。

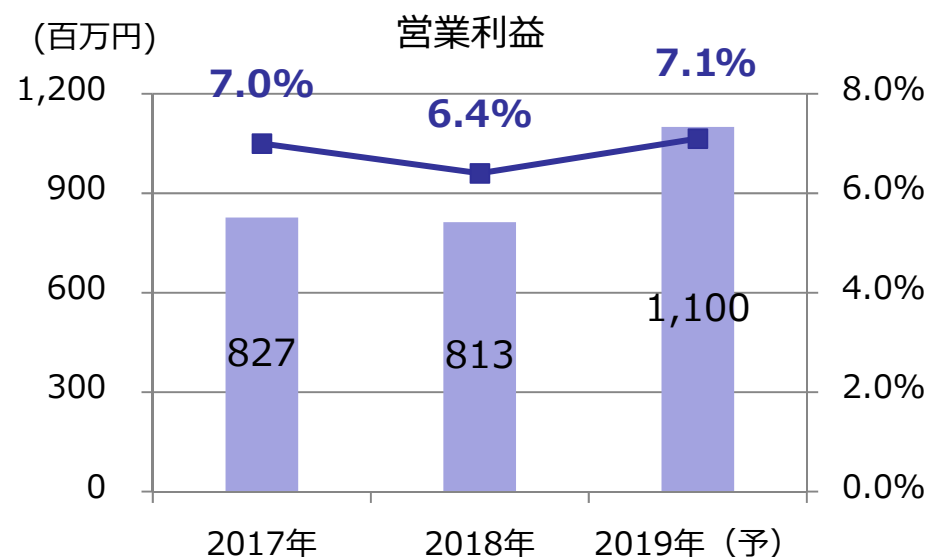
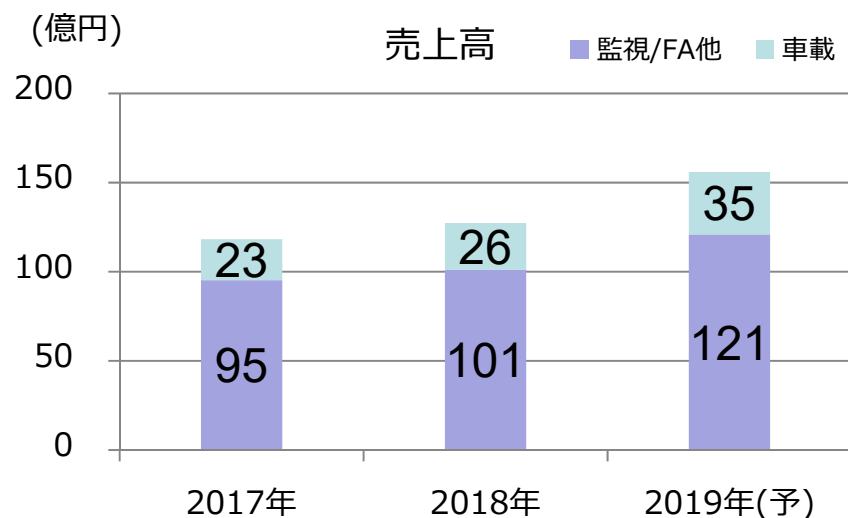


TAMRON

Ⅲ-2. 2019年通期 セグメント別業績 ③特機関連

(単位：百万円)	2018年 通期実績	2019年 通期計画 (期初計画)	2019年 修正計画	増減 (対前年)		増減 (対期初計画)	
				額	率	額	率
売上高	12,738	15,600	15,600	+2,861	122.5%	-	100.0%
営業利益	813	1,400	1,100	+286	135.3%	△300	78.6%
営業利益率	6.4%	9.0%	7.1%	0.7%	-	△1.9%	-

➤ 監視/FA他、車載用レンズ共に増収で**2ケタ増収増益**を目指す。価格競争、先行開発・投資等により**利益額は下方修正**。



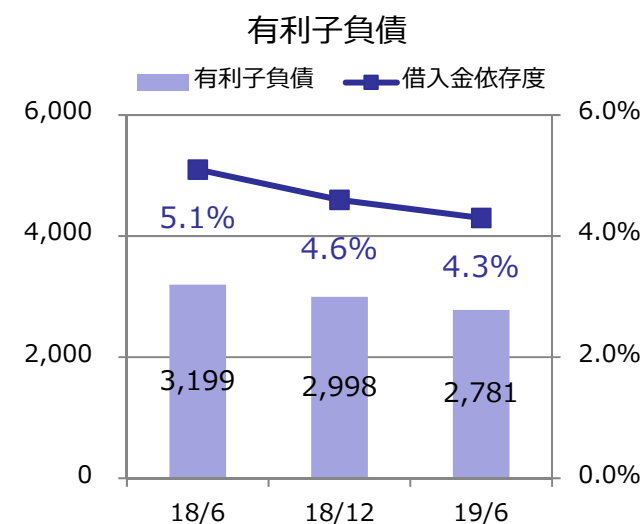
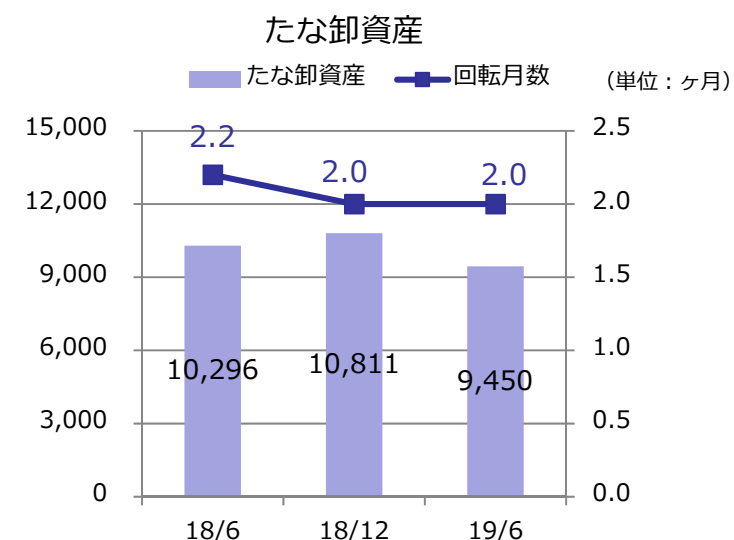
TAMRON

IV. 参考情報

TAMRON

IV-1. 財政状況

(単位：百万円)	2018年 12月末	2019年 6月末	増減 (対前期末)
現金・預金	22,438	24,905	+2,467
受取手形・売掛金	13,407	12,525	△882
たな卸資産	10,811	9,450	△1,361
その他流動資産	1,143	1,351	+207
固定資産	16,903	16,445	△457
資産合計	64,704	64,678	△26
流動負債	11,553	11,016	△536
固定負債	2,299	2,297	△1
純資産	50,852	51,363	+511
負債純資産合計	64,704	64,678	△26
自己資本比率	78.6%	79.4%	0.8%

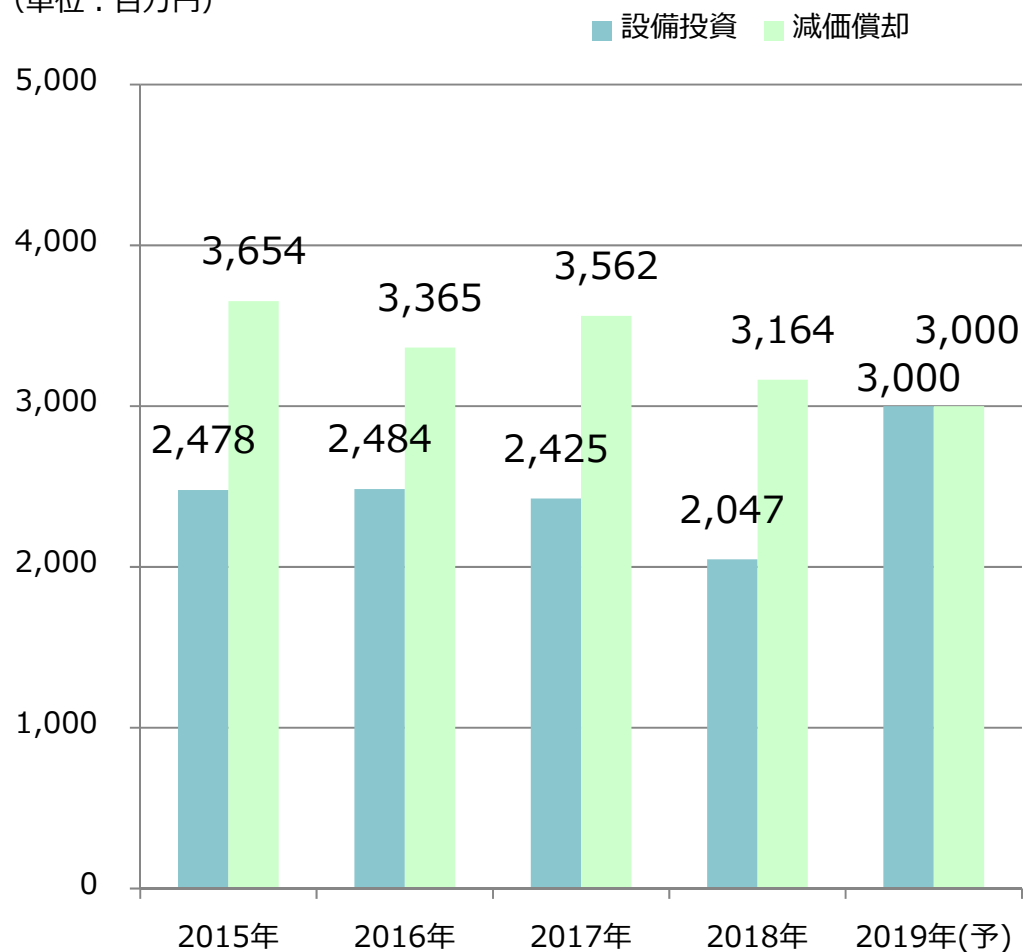


TAMRON

IV-2. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

設備投資額・減価償却費

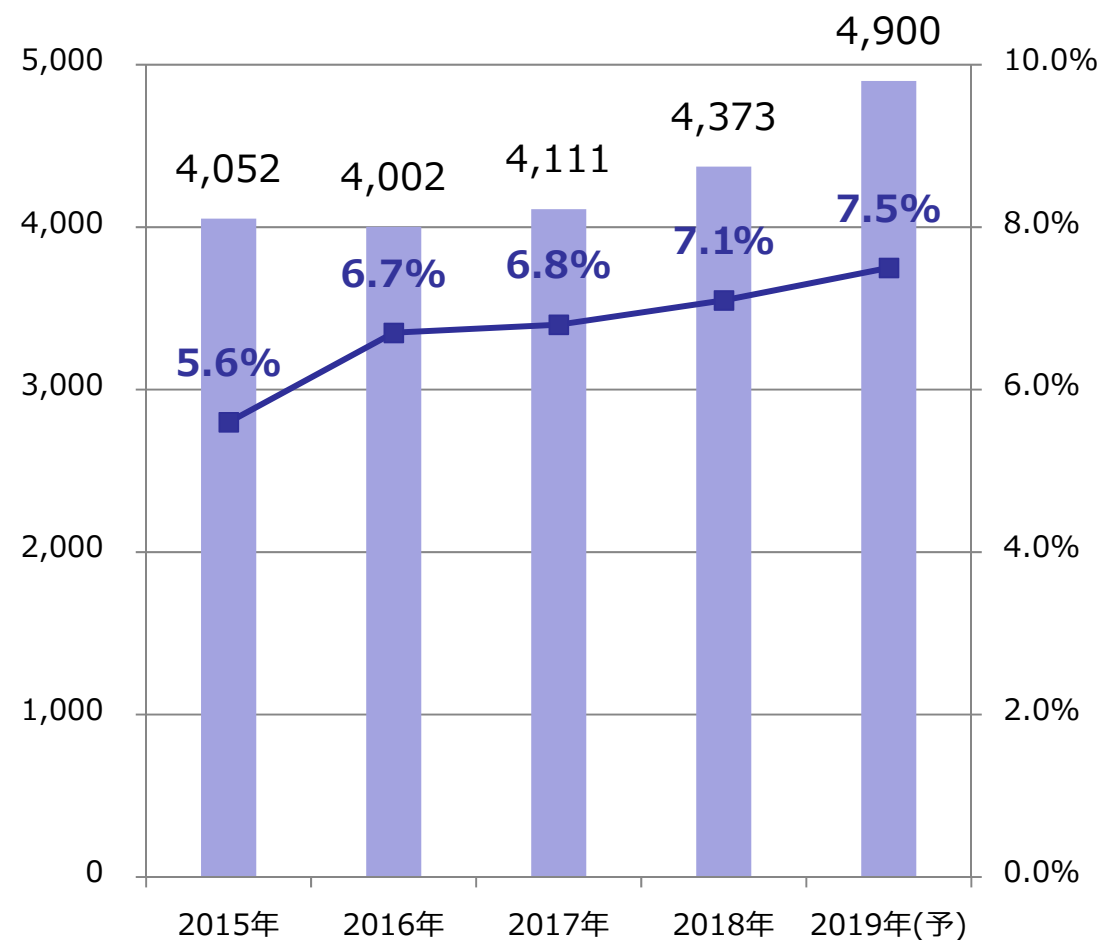
(単位：百万円)



研究開発費

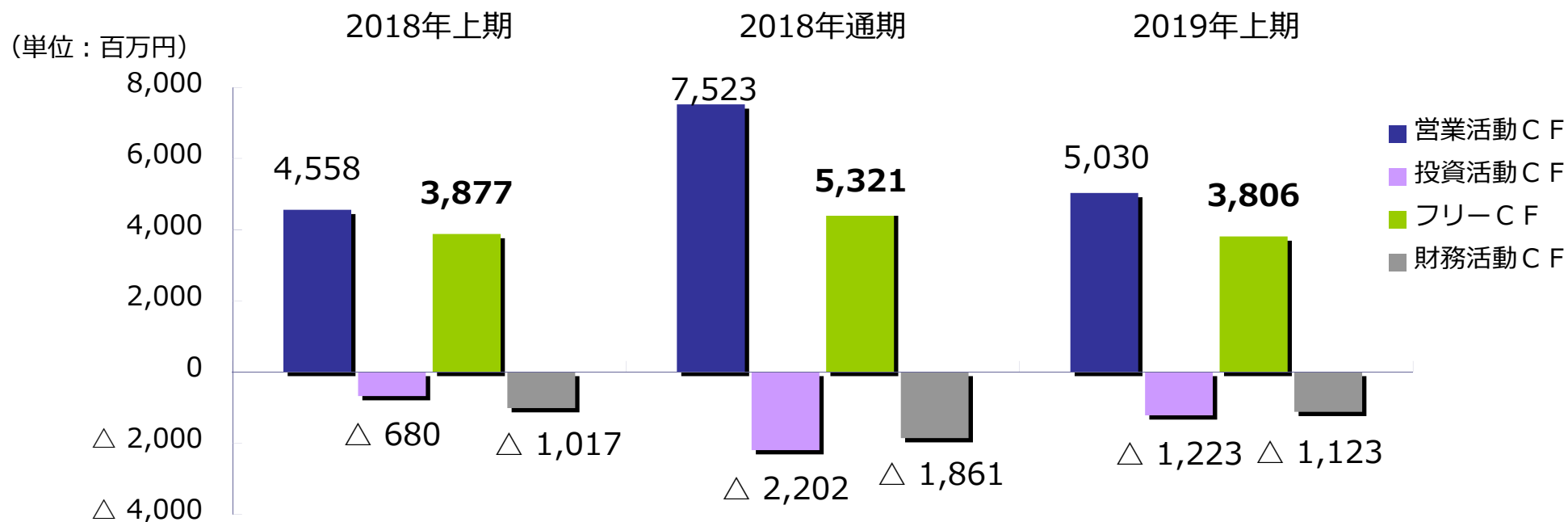
(単位：百万円)

売上高
研究開発費比率



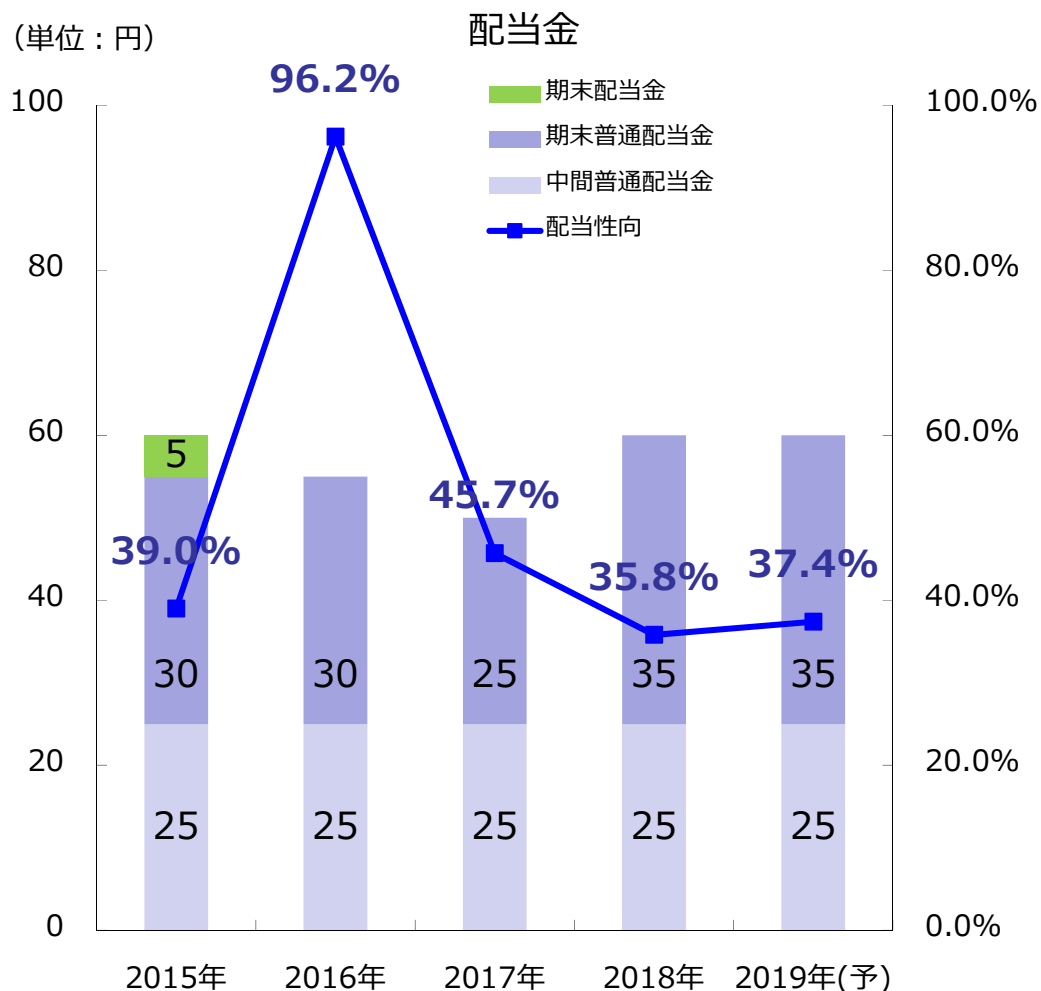
TAMRON

IV-3. キャッシュ・フロー



	2018年上期	2018年通期	2019年上期
営業活動CF	4,558	7,523	5,030
投資活動CF	△680	△2,202	△1,223
フリーCF	3,877	5,321	3,806
財務活動CF	△1,017	△1,861	△1,123
現金及び現金同等物の期末残高	21,976	22,438	24,905

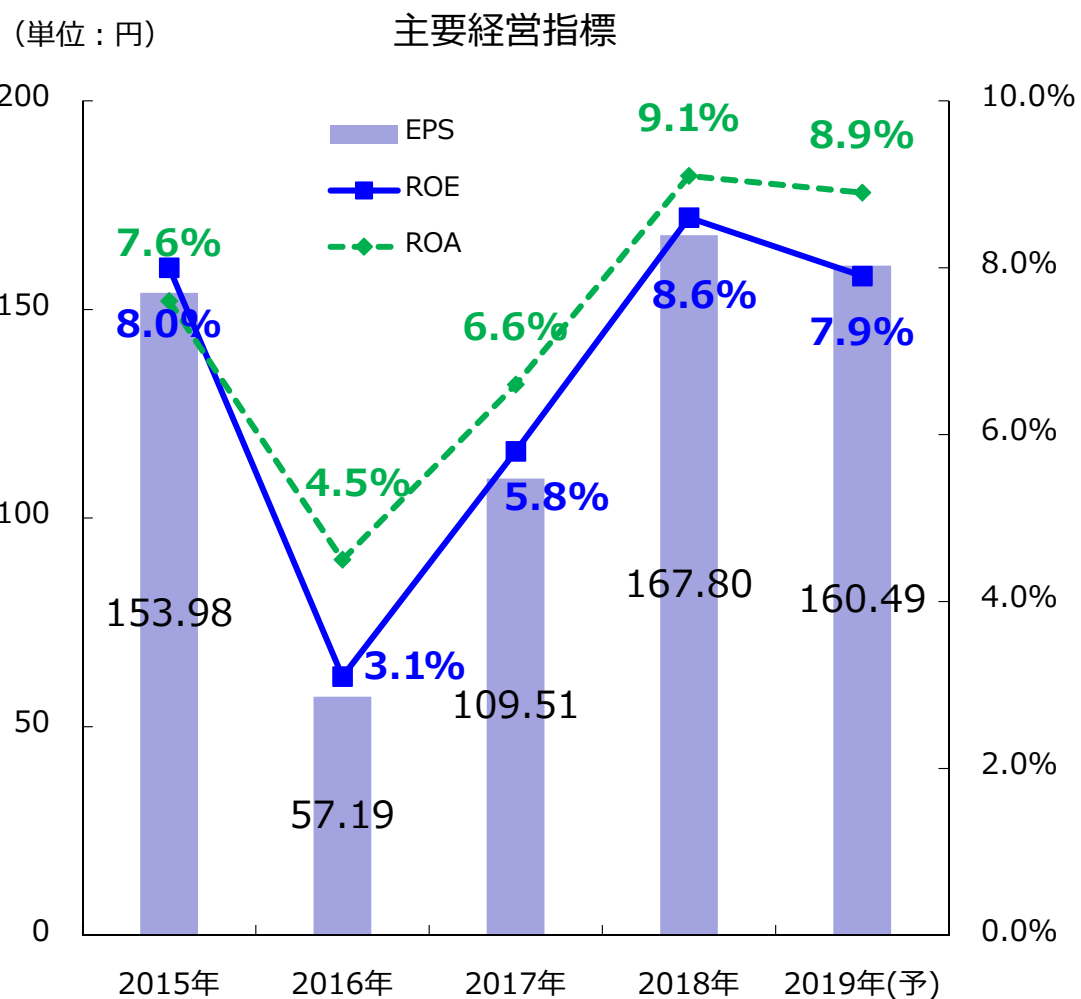
IV-4. 配当金、主要経営指標



※2015年期末配当金には創業65周年記念配当5円含む

配当政策

- ・ 配当性向目標(連結ベース) : **35%程度**
- ・ 安定配当



ROE = 当期純利益/純資産 (分母は期中平均)
 ROA = 経常利益/資産合計 (分母は期中平均)

TAMRON

IV-5. 為替影響

①2019年上期 為替影響額

	為替レート		影響額	
	2018年上期実績	2019年上期実績	売上高	営業利益
米ドル	108円68銭	110円07銭	+1.3億円	+0.1億円
ユーロ	131円58銭	124円35銭	△2.3億円	△1.9億円
他通貨	-	-	△1.2億円	△0.2億円
合計	-	-	△2.2億円	△2.0億円

(前期実績に対する影響額)

②2019年下期 為替感応度

	為替レート	1円の変動 (円高)による影響額	
	2019年下期前提	売上高	営業利益
米ドル	108円00銭	△1.6億円	△0.2億円
ユーロ	122円00銭	△0.5億円	△0.4億円

TAMRON

将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2019年12月期第2四半期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。